



2022年9月21日
パーソルチャレンジ株式会社

障害者の転職・就職支援サービス doda チャレンジ、障害ある 11 名の不安や悩み、転職成功までのエピソードを冊子化

「doda チャレンジ 転職成功ストーリー ～障害のある私たちがはたらく未来を見つけるまで～」

総合人材サービスのパーソルグループ傘下で障害者雇用支援事業を手掛けるパーソルチャレンジ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：井上 雅博、以下パーソルチャレンジ）は、障害者のための転職・就職支援サービス「dodaチャレンジ」を通じて転職を実現した障害のある方の体験談をまとめた「dodaチャレンジ 転職成功ストーリー ～障害のある私たちがはたらく未来を見つけるまで～」を発刊しました。本冊子はPDF版にて、無料で閲覧・ダウンロードいただけます。



名称	dodaチャレンジ 転職成功ストーリー ～障害のある私たちがはたらく未来を見つけるまで～	
発行	パーソルチャレンジ株式会社	
発行日	2022年9月21日（水）	
ページ数	32ページ	
PDF版 URL	縦版PDF（5.14MB）： https://mk.doda-challenge.jp/story_tate	
	見開き版PDF（5.01MB）： https://mk.doda-challenge.jp/story_mhiraki	
dodaチャレンジ	https://doda.jp/challenge/	

■地域、年代、障害特性の違う 11 人の不安や悩み、転職成功までのストーリーを紹介

「dodaチャレンジ 転職成功ストーリー ～障害のある私たちがはたらく未来を見つけるまで～」は、パーソルチャレンジが運営する障害者のための転職・就職支援サービス「dodaチャレンジ」に掲載されている、障害のある11人の転職体験談を再編集し、まとめたものです。地域や年代、障害特性の異なる11人が、障害を見つ

め、不安や悩みとどのように向き合ったのか。自分に合ったはたらき方を見つけるために、どのように考え、doda チャレンジをどう活用してきたのか、インタビューを通じて紹介しています。

dodaチャレンジでは、障害者専任のキャリアアドバイザーが障害の状況や配慮事項などについて丁寧なヒアリングを行い、求人紹介から応募書類の作成方法、面接対策や個別のご相談など、転職に関わるステップを総合的にご支援しています。dodaチャレンジを利用して転職された方の就業定着率は94%(*1)となっており、様々な場所で適性や能力を活かして活躍されています。

本冊子では、ご支援に携わった11名の体験談のほかにも、これまでのご支援を通じて培ったノウハウをもとにした「転職・就職成功7つのヒント」や、障害者専任のキャリアアドバイザー3名が転職成功への思いを届けるクロストークも紹介しています。

※1：2020年度6ヶ月就業継続率

08 **ADHDがあることは私の個性。可能性を広げられるようにチャレンジ。**

福岡県の経営中に体調を崩し、転職先に就くことも3カ月で決断。

私が、ADHDと診断されたのは、就職して3回目の会社で発生した転職に起因しています。自分の個性特性に自覚はなかったのですが、大学卒業のときに気づくようになって関心が高まりました。学歴時代にカナダに1年間留学しましたが、特にカナダは得意で、みんなが羨ましく思っていたので、帰国する前に留学先で英語が話せていたか確認してもらいました。帰国後の立ち振舞い悪いという指摘から診断されました。僕で良かったことですが、耳の聴覚もADHDによるものだったようです。

3社目の人材派遣会社に入社して半年が経った頃、新型コロナウイルスの影響で在宅勤務となり、バランスを崩していました。在宅勤務では、遠征してオフィスではたらくより自己管理能力が求められます。はたらく多岐にわたることで集中力が落ち、多量の書類作成が求められる中で、仕事に追われていました。その結果、ミスが増え、社長の怒りも覚悟せざるを得なくなりました。賞状を貰って内勤に付いたところ、職場のサポートを断られ、診断するとADHDと診断されたのです。正直ショックでしたが、思い出すと子どもの頃から、忘れ物が多い、時間に遅れる、集中できないなど、ADHDの特性に当てはまっていたので、すぐに受け入れられました。会社に就職難を伝え、理解してもらえたのですが、就職難は必ずしも障害者採用時にのみ転職先に認められました。定着率として長期にキャリアを積んでいこうと考えたからです。

dodaチャレンジに登録して1カ月半、福岡県会の合同会社から内定が！

障害者専門のエージェントに相談し、すぐに具体的な企業紹介もしてくれたのは、dodaチャレンジだ

けでした。キャリアアドバイザーにオンラインで電話でのカウンセリングしてもらいましたが、優しい雰囲気でもっと話してみようと思ったのです。

お話しした看護婦は、「障害者採用時」であっても、一般企業と同じような面接でいいから、面接がうまくいかなかったら面接がなかったらいいから、その条件でいいからという会社は、面接のしかた、面接、メモリーなど調整がありました。面接に決めた理由は、面接の雰囲気からかたからです。

転職活動は10月半ばまで、とてもスムーズでした。障害をオープンにするかどうかは、私の希望は特になのですが、職種の会社は関係ないスタッフなので、より正しい情報提供が加わっていると思います。定期的に面接があるので、その間に、面接してほしい内容を伝えることができます。例えば、配慮された人財で採用希望を伝えておき、面接前になると面接が怖い、マスクが苦手なことに不安があるなど、事前に伝えておくと、面接当日の不安や緊張を軽減していただけます。面接当日は緊張感を感じながらも、面接官の方から話を聞いてもらい、面接がスムーズに進んでいきました。

キャリアアドバイザーからのメッセージ

ライフイベントと長期就業が両立できるよう応援しています。

面接の過程で不安定な状態が起きたときは不安定なまま、新しい環境で働くことが難しいと感じる場合は、面接当日や面接後の状況に応じて自分もサポートします。企業側へ働きかけて面接の場を設けてくれるようにサポートさせていただきます。面接当日は緊張感を感じながらも、面接官の方から話を聞いてもらい、面接がスムーズに進んでいきました。

<転職成功ストーリー>

- 【1】コロナ禍での新卒内定ゼロから逆転。私自身を理解してくれた会社に新卒入社。
S.M.さん（20代）<視覚障害>
- 【2】福岡在住のまま、東京の企業へ転職。目標に向け、フルリモートではたらく日々。
Y.H.さん（30代）<四肢体幹機能障害>
- 【3】キャリアを活かせる「ジョブ型雇用」で、LGBTフレンドリー企業を新天地に。
D.H.さん（40代）<免疫機能障害/LGBT当事者>
- 【4】ADHDがあることは私の個性。可能性を広げられるようにチャレンジ。
S.M.さん（20代）<ADHD/注意欠陥多動性障害>
- 【5】キャリアアドバイザーの力を借り、苦手なマルチタスクを乗り越えて。
Y.Y.さん（20代）<ADHD/注意欠陥多動性障害>
- 【6】発症から転院を経て社会復帰。グローバル企業で、次なる夢への第一歩。
S.I.さん（40代）<双極性障害>
- 【7】LGBT当事者で精神障害を抱えながら人生を大転換して見つけた「使命」。
I.M.さん（40代）<気分変調症/LGBT当事者>
- 【8】予期せぬ視覚障害の診断から、「使命」と胸を張れる転職先に会おうまで。
Y.K.さん（30代）<視覚障害>
- 【9】地元で人生を再始動して取り戻した、向上心を持ってはたらける喜び。
I.K.さん（40代）<うつ病>
- 【10】コロナ禍に、50代での転職に挑戦。「できること」に目を向け、広げた可能性。

M.N. さん (50 代) <上肢下肢障害>

【1 1】辛いなら、我慢しなくていい。気づきからはじまった、幸せな職場探し。

S.Y. さん (30 代) <知的障害>

【発刊にあたって】

パーソルチャレンジ株式会社 人材ソリューション本部 キャリア支援事業部ゼネラルマネジャー 木田正輝



当社が障害のある方のための転職・就職支援を開始して20年になります。「dodaチャレンジ 転職成功ストーリー ～障害のある私たちがはたらく未来を見つけるまで～」には、これまで私たちがご支援に携わった障害のある方が、自分の特性を見つめ、不安や悩みを抱えながら、自分と真正面から向き合い、活躍につながる転職・就職をするために、どのように考え行動したのかが描かれています。dodaチャレンジのサイトに掲載されているストーリーをご覧いただいた求職者の皆さまからは、“自分と同じような特性のある人が転職に成功していることを知り、とても勇気づけられました。私も頑張ろうと思います。”といったお声を多数頂戴しています。

私たちは障害のある方の“自分らしくはたらいていきたい”という思いに応えるために、お一人おひとりに寄り添い、転職・就職活動をご成功いただけるようご支援しています。今回、ご紹介させていただいたストーリーはほんの一部で、新たなエピソードは日々次々と生まれています。転職・就職に不安のある方や、自分に合った環境や仕事を見つけたい方はぜひ、dodaチャレンジをご利用ください。

また、障害者雇用に取り組む人事・採用担当者や経営者の皆さまにも是非お手にとってご覧いただき、様々な障害のある方が活躍されている姿や、多様な個人への関心と理解をいただけましたら幸いです。

■ **dodaチャレンジについて** <<https://doda.jp/challenge/>>

dodaチャレンジはパーソルチャレンジが運営する障害者のための転職・就職支援サービスです。国内最大級の登録者数を持ち、事業開始以来、数千人を超える障害者のご支援を行っています。国家資格などの専門資格を持つ障害者専任のキャリアアドバイザーが、障害の状況や必要な配慮事項など、丁寧なヒアリングを通じて一人ひとりの適性に合った転職活動をサポートしています。

■ **パーソルチャレンジ株式会社について** <<https://challenge.persol-group.co.jp/>>

パーソルグループの特例子会社として、2014年10月の設立以来、障害のある方への個人向けサービスとして、国内最大級の求人・登録者数を持つ転職・就職支援サービス「dodaチャレンジ」、就労移行支援事業所「ミラトレ」「Neuro Dive」、法人向けサービスとして、障害者雇用に関する多種多様な課題にお応えする「障害者雇用コンサルティングサービス」を展開しています。障害者採用の成功ではなく、定着までを考えた“障害者雇用の成功”を目指し、障害者の自立および成長を幅広く支援しています。

■ **「PERSOL (パーソル)」について** <<https://www.persol-group.co.jp/>>

パーソルグループは、「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに、人材派遣サービス「テンプスタッフ」、転職サービス「doda」、ITアウトソーシングや設計開発など、人と組織にかかわる多様な事業を展開しています。グループの経営理念・サステナビリティ方針に沿って事業活動を推進することで、持続可能な社会の実現とSDGsの達成に貢献していきます。

また、人材サービスとテクノロジーの融合による、次世代のイノベーション開発にも積極的に取り組み、市場価値を見いだす転職サービス「ミイダス」、テクノロジー人材のエンパワーメントと企業のDX組織構築支援を行う「TECH PLAY」、クラウド型モバイルPOSレジ「POS+ (ポスタス)」などのサービスも展開しています。

本リリースに関するお問い合わせ先

パーソルチャレンジ株式会社 広報担当 (担当: 小山)

MAIL : inquiry@persol.co.jp